

学校給食施設整備の検討について

1 これまでの取組

学校給食に関する課題については、令和元年度の文教企業委員会所管事務調査において、「検討委員会」を設置して総合的に検討するよう提言がありました。

これを受け、令和3年度から、学識経験者や学校関係者等で構成する「呉市小中学校給食検討委員会」を設置して検討を進め、令和4年6月に、給食調理を実施している学校から近隣校へ配送する「親子方式」や、給食共同調理場において調理して配送する「センター方式」により給食を提供することなど、今後の「学校給食の在り方」について報告しています。

また、同年8月には、全中学校においても、できるだけ早期に温かい全員喫食の給食を提供してほしいという市民ニーズに応えるため、概算事業費やスケジュール案などを示して、これまで実施していた「デリバリー給食^{※1}」から「食缶制給食^{※2}」への転換を図ることについて報告し、令和5年度から令和7年度までの3年間で、順次、全ての中学校等において「食缶制給食」への転換を完了し、温かい給食の提供を行っています。

※1 デリバリー給食 民間の調理場で調理したものをランチボックスに盛りつけて各学校へ配送して食べる給食

※2 食缶制給食 おかずや汁物などを保温性の高い食缶に入れて教室に持って行き、児童・生徒が取り分けて食べる給食

2 現在の課題

本市の「学校給食施設」は、昭和40年代から建設を開始しており、これらの中には、文部科学省が示している財産の処分年限を超えているものもあるため、施設の老朽化への対応が必要となります。

また、建設当時の基準に基づいた施設であるため、現在、「学校給食衛生管理基準」（平成21年文部科学省告示第64号）により望ましいと示されているドライシステム^{※3}の導入や、近年の少子化の進行に伴う給食提供数の低下についても対応する必要があります。

※3 ドライシステム 床に水が落ちない構造の施設・設備、機械・器具を使用し、床が乾いた状態で作業するシステム

3 検討内容

これらの課題を解決するため、現在、本市が実施している「親子方式」や「センター方式」等の状況を検証するとともに、施設の更新や、規模適正化なども含め、今後の呉市の学校給食施設整備の検討を行います。

4 検討体制

検討に当たっては、学識経験者を始め、保護者代表や市民代表等で構成する検討委員会を設置します。

5 今後のスケジュール（案）

		令和8年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校給食施設整備の検討													
	検討委員会					■			■		■		
	議会(行政報告)		●						●			●	
			●						●			●	
			●						●			●	